

2021年3月期決算説明会 主なQ & A

[運賃・料金]

Q： 運賃体系の見直しについての進捗状況は。

A： 1年の中での季節別のピークシフトと1日の中での時間帯別のピークシフトの2つについて検討している。時間帯別ピークシフトについては、既に3月からオフピークポイントサービスを始めており、この結果を分析してオフピーク定期券の導入を検討していく。季節別ピークシフトについては、料金体系の変更を現在検討している。いずれもできるだけ早く導入していきたいと考えている。

なお、普通運賃・定期運賃の値上げは認可事項であるが、季節別に料金差を設けるのは届出事項である。現在も繁忙期、閑散期で金額に差をつけているが、更にメリハリをつけられないかも含めて検討している。

[オフィス・ホテル]

Q： オフィス、ホテルの需要が弱い環境であるが、コロナを受けて大規模開発での用途の見直しは考えているのか。

A： オフィスの作り方については見直しが出てくると考えているが、逆にKDDI様と取り組んでいる「空間自在プロジェクト」のような使い方、あるいはシェアオフィスのような使い方もあり、当社グループの開発は基本的に駅を中心としているので、高い競争力は維持できると考えている。ホテルについても、インバウンドの回復に合わせて需要も戻ってくると考えている。

[金融サービス]

Q： 「Beyond Stations 構想」も発表しているが、「経済圏」の観点から捉えた場合、金融サービスはどのように展開していくのか。

A： 金融サービスについての戦略に関しては、さまざまな検討を行っているところであり、具体的なサービス展開について、詳細がまとまった時点で発表していく。

以上